

# すずらん会だより78号



2021年7月発行

## 定例会に参加して



6月23日(水)すずらん会定例会が福祉の森調理室で行われました。15名が参加しました。

前回同様会長さん演奏のウクレレをバックに「雨ふり」と「七夕さま」を歌いました。小学校卒業以来歌った事が無く「雨雨ふれふれ母さんが」の出だしで始まるこの歌がストーリー性のある5番まであるのに感嘆いたしました。

交流の場では各会員に紙が配られ、日頃の困り事や相談したい事等を記入し、その中からストレス解消法、お子さんの就労を含めた将来の事、日常のお子さんとの対応に関わる悩み等が紹介され、皆さんが同じような悩み、又は様々な問題を抱えている事がわかりました。皆さん自分なりのやり方で工夫されてる事、訪問看護を利用出来る事等、今まで知らなかった情報やアドバイスを頂き大変良かったと思います。貴重な実のあるひとときを過ごせました。次回の定例会を楽しみにしています。 M・M

## 定例会に参加して



すずらん会の定例会に初めて参加させていただきました。少人数のグループに分かれ、発言しやすい雰囲気だと思いました。お話を伺いながらたくさん学ぶことができました。支援者としてはその方にあった段階での支援を大切にしていきたいと思っています。当事者の方はもちろんですがそれを支える家族の方も、家族以外と関わりを持ち、家族以外の方と会話をすることはとても重要だと感じています。

マズローの法則によれば、人間の欲求には5段階あります。基本的欲求の「生理的欲求」「安全の欲求」を経て「社会的欲求」が生まれます。物質的満足だけでなく、「自分を受け入れてくれる親密な他者の存在」が不可欠になってきます。

まず、ご家族が家族会に出かけてみる、いろいろな方のお話を聞き、自分も喋ること、楽しい時間を過ごしてみる。そこから生まれる感情の変化が当事者の対応にも生かされてくると感じます。ご家族だからこそその悩みなど、もっとたくさんお話を聞きたいと思いました。

地域活動支援センターふれあい 山崎

## このごろ・・・



毎朝カボチャの花を観るのが楽しみで起きる。ツルは勢い良くネギに絡まり、花に絡まり、みつばを乗り越えて伸びて行く。狭い庭はカボチャの葉の海になっている。良く見ると十分に鑑賞に耐える花。黄色の花びらは大きく姿も美しい。花瓶にさしてみた一既に15cm位に育った実もあるのに、受粉ができなかったのか始めから弱い実なのか、2、3cmで茶色くなってポロっと落ちてしまう実もある一これが自然なのか・・・

夜中の1時頃目が覚めた。入浴したり、洗濯したりする為に階段を昇り降りする息子の足音が聞こえる。娘は静かだが、いつも通りスマホを使いながらテレビを見ているのだろう。11時過ぎたら画面を見ないよう医師から言われているのに・・・アア！オリンピックがもうすぐだ、コロナ禍で職を失った人、事業が立ちいかなくなった人様々いるだろうに、見れば盛り上がるオリンピックだが、災いを受けた人にオリンピックの資金を回せないだろうか、生命がかかっている人もいるのでは？その人達がオリンピックを見てどう感じるだろうか。開催してどこにどれだけのお金が落ちたか知りたいものである。

コロナは、世界中を巻き込んだ。なのに発祥地の国では素知らぬ顔をして、宇宙開発などどうそぶいている。裁いてもらいたいものだ一嘆かわしい一梅雨の晴れ間の空は青く、緑は生き生きと躍動している。

ふと思うこのごろ・・・いつまで続くのかな・・・

E・K



- ◎6/9 (水) 県連総会・会長会議
- ◎7/6 (火) 県西地区家連連絡協議会に参加しました。次回すずらん会だよりで報告します。

問い合わせ/連絡先：茨城県古河市新久田 271-1

福祉の森会館(特定非営利活動法人ふれあい)

☎/fax : 0280-48-5878 e-mail : info@fureai-net.org